

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあい			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日 ~ 令和7年9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日 ~ 令和7年9月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・自然豊かな環境の中で身体を動かして遊んだり、環境を活かした畑作業や地域活動に取り組んだりすることで、普段の生活では経験できない体験を行うことができる。 ・好きなことや得意なことを活かし、考え、実行して次に繋げることを職員と一緒に取り組める。	・日常の活動の中に子どもたちが好きなこと、課題となることをセットにして組み入れる。 ・子どもたちの意見を尊重した活動を意識的に行っている。	・工夫のやり方や考え方の共有を図る。 ・子どもが意思表示をしたり、決めたことを行動に移せるような環境設定を行う。
2	・作業療法士が在職しており、専門的な支援を行うことができる。 ・個々の特性に合わせた活動や取り組み	・個々の特性を深掘りし、子どもについての理解をスタッフ間で共有している。 ・作業療法士や保育士、教員免許所持者らの多様な専門的な視点から個々の支援のプログラムを準備できる。	・職員全体で専門的なプログラムへの共通理解を深める。 ・具体的な関わり方のバリエーションを増やす必要がある。
3	・季節行事や外出行事等の社会体験の場が多い。	・子どもの成長に合わせた役割を与えたり、活動内容を工夫することで、行事に参加するだけでなく楽しむことができる経験を積ませるようにしている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援の質に偏りがある。 ・利用者が増えた際の体制。	・職員のスキルアップ ・配置人員が限られているため、利用者が増えた際に個々に合わせた体制が難しくなる。	・子どものPDCAサイクル。 ・会議の中で最適な配置を考えながら支援していく。
2	・個々の理解力に合わせたスケジュールの提示。	・支援前の会議が長引くため、準備に掛ける時間の余裕がなく、スケジュールの提示が不十分になる。	・会議の内容を端的にして準備の時間を増やす。
3			